



企業Profile

- ◎住所：福岡市博多区中洲2-6-10
- ◎TEL：092-291-3575
- ◎設立：1948年（昭和23年）10月
- ◎資本金：3,000万円
- ◎正社員数：213名（平成27年4月1日現在）
- ◎事業所：福岡県、東京都
- ◎HP：http://www.fukuya.com/

地域とともに70年。福岡を代表する企業

食料品の店として昭和23年にスタートしたふくやは、間もなく創業70年を迎える。創業者である川原俊夫が日本で初めて店頭に並べ、販売を開始した素材と味にこだわり抜いた辛子明太子は、いまや、福岡の名物として全国的に知られる商品である。創業当時から地域貢献を経営方針の中に掲げ、PTAや町内会など地域活動に積極的に関わることを奨励してきたふくやは、福岡において、子育て応援企業のパイオニアともいえる存在である。

中途	17年	年間休日	残業時間	初任給	平均年齢	平均勤続年数
-	採用窓口開設中	121日	30時間 (月平均)	19.0万 (大卒・営業)	39.0歳	16.2年

採用実績データ	2013	2014	2015
過去3年新卒採用実績	4名	5名	6名
過去3年中途採用実績	-	-	-

●●● 私たちの宣言内容 ●●●

- 懐妊時点で本人との面談を行い、妊娠期間中、安心して勤務ができるような環境づくりに努めます。
- 休業前面談、休業中の社内報送付やメール等での情報交換、復帰前面談を行ない休業中の不安を和らげるようコミュニケーションを図ります。
- 休業前面談時には、子育てと仕事の両立への意識付け、休業中の過ごし方についての先輩社員のアドバイスを伝えます。
- 復帰前面談時には、子育ての環境（子どもの預け先や時間、緊急時の対応状況、土日勤務の可否）について細かな状況を確認し、配属先を決定します。
- 男性社員の配偶者出産休暇の取得促進を図ります。
- 業務効率化による時間外勤務時間の削減を図り、仕事と家庭の両立を支援します。

ふくやからのメッセージ

地域に参加し、貢献すること

ふくやの理念を活かした制度があります

『一人ひとりが単なる「会社人間」ではなく、どんなステージに立った時でも自らの力で輝ける人間であって欲しい』『会社で学んだことを活かし、地域の様々なシーンで生き生きと活躍できる人材に成長して欲しい』



い』と考えています。

その思いから生まれたのが、PTAや地域活動に参加する従業員へ毎月「地域役員手当(上限5千円)」を支給する制度。地域活動への参加は、地域社会の発展への貢献に留まらず、社員の成長にもつながると考え、積極的に地域活動参加を推奨しています。

社員とその家族にとっても  
「良い会社」を目指して職場環境を整備

社員にとっての「良い会社」とは「仕事も家庭も充実できる会社」だと思います。

当社社員の男女比は1:1です。製造・販売など、女性が多く活躍している部署も多いため、仕事と家庭の両立を支援する制度の整備に、とりわけ力を注いできました。

一番、特徴的と言えるのは、従業員もしくはその配偶者の妊娠がわかった時点で、人事担当者が夫婦を対象とした面談を実施し、両立支援制度の説明をしていることだと思います。男性も育児参加の重要性を認識することで、女性は働きやすくなりますし、男性も育児休業を取得する意識が高まります。この面談を行ってきたことにより、平成26年度に初めて男性社員が育児休業を取得しました。

他にも、それぞれの子育ての状況に応じて働けるよう6種類の勤務形態から働き方を選べる制度を整備。例えば、残業無しの勤務、30分単位での短時間勤務、土日祝日出勤無しなどがあり、柔軟な働き方を可能にしています。また、男女を問わず従業員が勤務時間内に授業参観等への参加を認める制度を整備した他、業務効率化を図り、時間外勤務の削減を促進するなど誰もが、常に働きやすく、働き甲斐のある職場環境を作っています。



子育て支援制度を  
利用しました！！

男性で初めて育児休業を取得しました。社内のイントラネットや面談を通じて、夫婦揃っての取得や短期間での取得ができることを知り、休業することを決めました。3週間という期間でしたが、日々成長していく我が子の姿を間近で見守ることができ「今しかない」貴重な時間を過ごすことができました。



男性スタッフ Aさん



女性スタッフ Bさん

育児休業から復帰後も毎年ヒアリングを実施しており、6種類の勤務形態から自分にあった働き方を選べるのありがたいですね。周囲に職場復帰を経験した女性社員が多いのも心強く、安心して仕事と子育てを両立できる環境があります。

「社員の成長と幸せを大切にすること」を理念を形にします



育児参加というのは様々な形があると思います。育児休業の取得だけでなく、有給休暇の取得、仕事の進め方を工夫して早く帰るなど、本人が意識して親子で過ごす時間を少しでも長く持つことが大切であると思います。社員の育児参加への意識が高まるのが人としての成長にもつながると考え、様々な取組を行っています。

「社員の成長と幸せを大切にすること」という理念を仕事と子育てが両立しやすい職場環境を作ることで形にしています。



支援部 人事課 課長  
山中 崇彦さん